

## 令和5年度第2回加古川市子ども・子育て会議 議事要旨

【日 時】 令和5年10月23日（月） 10時00分～11時00分

【場 所】 加古川市役所南館3階（旧勤労会館）3階301会議室

【出席委員】 松田会長、阿部副会長、稲田委員、今井委員、江指委員、北野委員、千堂委員、高瀬委員、高橋委員、宮井委員、山下委員（11名）

【会議次第】

- 1 開会
- 2 報告事項
  - （1）第三期加古川市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズの把握について
  - （2）加古川市立就学前教育・保育施設再編計画策定のための専門部会の設置について
- 3 その他
- 4 閉会

【配付資料】

資料1：令和5年度第2回加古川市子ども・子育て会議 座席図

資料2：第三期加古川市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズの把握について

資料3：調査案内文（案）

資料4：紙調査票（案）

資料5：調査項目（案）

資料6：加古川市立就学前教育・保育施設再編計画策定のための専門部会の設置について

資料7：加古川市子ども・子育て会議条例（抜粋）

資料8、9：放課後児童健全育成事業（児童クラブ）アンケート調査（案）

（参考）

・事務局出席者名簿

議事要旨

1 開 会	
2 報告事項	<p>(1) 第三期加古川市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズの把握について</p> <p>事務局 資料2から5、資料8、9について説明</p> <p>委員 子育て環境に関する設問はまちづくりにも大きく関わってくると思う。今回の子育て世代へのアンケート結果が、かわまちづくりを含む市全体のまちづくりにも反映されるのかどうかを聞きたい。</p> <p>事務局 おっしゃられるとおり、かわまちづくりは加古川市が力を入れている事項のひとつである。他所属においても、市民の皆様の意見をいろんな形で今後聴取していくと思うが、その中には子育て世代の意見も含まれると思う。その内容が子ども・子育て支援事業計画にリンクするところがあれば、内容を精査しながら、こういった形で反映するか、様々な方向から検討したいと思う。</p> <p>委員 アンケートについての資料で二つ質問がある。 一つ目は、問1で、重複回答防止のために6桁の番号入力することになっているが、この番号で個人を特定されることはないか、念のため確認したい。 二つ目は、地域幸福度(Well-Being)の指標についてである。市民意識調査にも子育ての幸福度の指標(LWCI)が入っていると思う。今回のアンケートでは、問11の部分がLWCIの指標として活用できると思われる。子育てと地域幸福度がリンクするのであれば、今回のアンケートの内容にもいれてほしいと思う。</p> <p>事務局 問1については、個人を特定しないような内容にする予定である。 問11については、その点に関して十分考慮しながら、内容については精査させていただきます。</p> <p>委員 放課後児童クラブについて、私は早朝と夕方の時間帯も利用できたらいいなと思っている。資料8のアンケートについて、何年度まで利用したいかとか、何時まで延長利用したいかなどを問う項目があってもよいのではと思う。</p> <p>事務局 以前の利用時間は8時から18時半までだったが、利用者の声を反映し、現在は朝7時45分から開所し、延長を希望する方については19時までご利用いただいている。 保育園のように7時からなど、現在よりもさらに早い時間からの利用を希望するような意見は今のところあまりない。しかし、職員配置や実際に勤務している方が勤務可能かどうかを含め、検討の余地はあると思う。今回のアンケートでそういっ</p>

	<p>た意見をお伺いできるよう、質問項目についてはもう少し検討させていただきたい。</p>
委員	<p>平成 30 年度にアンケートを実施した際、有効回答数 54.2%であったが、想定内の数字だったのか。</p> <p>また、前回は想定を下回る数値だった場合、今回回答数を上げるために変えたことはあるのか。</p>
事務局	<p>市で実施している他所属の調査によると、50 歳未満のオンライン回答率が 20～30%であったとのことだったので、このアンケートの回答率もその程度ではないかと想定している。</p> <p>資料 2 でもあるとおり、今回はオンライン回答ができるように変更する予定である。紙調査と比較すると、人的・金銭的成本が省略できるだけでなく、市民の方に手軽に回答いただけることが大きな利点である。</p> <p>もちろん紙での回答にも対応するが、なるべくオンライン回答してもらえたらと思っている。</p>
事務局	<p>補足として、アンケートの有効回答数は大体 1,000 を超えれば後はそれ以上増えてもあまりその内容に影響しないと言われている。そのことに鑑みれば、回答率 50%だと回答数 2,000 であるため、十分な数値だと思われる。</p> <p>また先ほど申し上げたように、若い世代が回答しやすいのはオンライン回答ではないかと考えている。今回の試みでかなり回答数が下がるようなことがあれば、次回は方法見直しを検討したい。</p>
委員	<p>オンライン回答はとてもよい試みだと思った。今回より多くの意見が聞けたらいいなと思う。</p>
委員	<p>アンケート終了時までには回答を促すような通知等はあるのか。</p> <p>また、資料 4 の内容が画面で同じように表示されたときに、設問が長すぎてスクロールしながら最後までちゃんと回答していただけるのか懸念している。紙で見るとスマホで見るとは違う。時間はないかもしれないが、せっかく実施するのであれば、しっかりスマホの画面用を作り込んで、最後まで答えていただけるような画面づくりを市の中で協議していただきたい。</p> <p>あとは、最後の申請ボタンを押してもらえそうな工夫や、資料 3 の調査案内文に URL も併記することは考えているのか。</p>
事務局	<p>回答期間が 1 か月程度であることから、回答の催促を通知で行うことは現時点では予定はしていない。</p> <p>スマホで回答した場合のページレイアウトについては、答えやすさを念頭に置いてしっかりと検討していきたい。</p>

<p>委員</p>	<p>また、一時保存などの機能を設ける予定にしており、回答への忌避感を少しでも解消したいと考えている。</p> <p>1,000人程度集まれば回答データとして安定してくるという発言があったが、より上を目指すべきだろうと思っている。</p> <p>というのも、こういったアンケートは、積極的に答えようという人の意見だけが反映され、回答が面倒に思う人の意見はどうしても埋もれてしまう。</p> <p>目標100%は難しいと思うが、なるべく全員から回答をもらえるよう、回答してよかったなと思えるメリットが何かあればいいなと思う。</p>
<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>(2) 加古川市立就学前教育・保育施設再編計画策定のための専門部会の設置について</p> <p>資料6により説明</p> <p>質問、意見等なし</p> <p>専門部会の委員として以下5名を指名する。また、就学前の子どもを持つ保護者への影響が大きい内容であることを鑑み、専門部会の会議は非公開の開催とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部会長                   : 松田会長</li> <li>・ 他の4名の委員 : 高橋委員、江指委員、北野委員、三柴委員の後任の方</li> </ul> <p>異議なし</p>
<p>3 その他</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>他市在住の知人によると、その市では生まれてから6か月未満の子どもを対象にした子育てサービスがないとのことだった。</p> <p>加古川市では、6か月未満の子どもを対象にしたファミリーサポートセンターの制度が今年10月から始まったが、実際利用されている方の声を聞きたい。</p> <p>提供会員の中で6か月未満の子どもをサポートしたい方に対して、今年4月から赤ちゃんサポーターの養成講座を実施している。助産師の方から沐浴の練習や抱っこの方法などを講習していただいております、皆さん楽しそうに受講されていた。</p> <p>ファミリーサポートセンターでは、子どもを預ける方が安心して利用してもらえるような環境づくりに努めている。</p> <p>今年10月から6か月未満の制度を利用している方は実際にいらっしゃる。また、制度の拡充に伴い、1枚で1時間利用できる無料クーポン券6枚を今年4月から発行しており、10月から使えるようになっている。</p> <p>実際に有料でも利用したいという声もあり、クーポンの利用開始の予定を待って申し込まれる方もいらっしゃる。実際の利用が10月1日からということもあり、</p>

<p>委員</p>	<p>4月からしばらくの間申込者数は予定を下回っていたが、この9月後半ぐらいから一気に申し込みの問い合わせが増えている状況である。</p> <p>一人一人お伺いする中で、不安を抱えていらっしゃる方はたくさんいた。これからの利用率がどの程度になるかわからないが、6か月未満の子育て体制づくりは大事なことであり、安心感につながっているように感じている。</p> <p>加古川市の各取り組みを知ってもらうため、アンケートの中で認知度をうかがってもよいかもしれない。</p>
<p>4 閉 会</p>	